

# 防火と消防システムについて



2014年9月3日・4日

武器爆発物火災管理局



# 目次

I- 防火について

II- 直面する障害

III- ガイドラインのビデオ観覧

# 1. 防火について

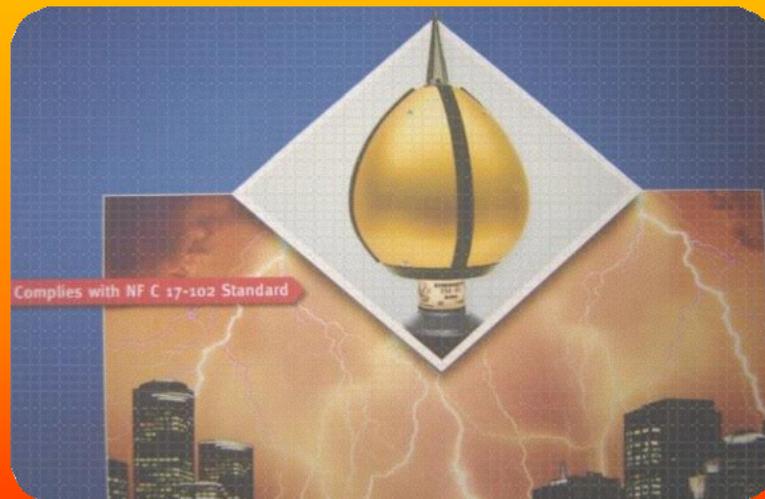
## 9. 防火システム

現在カンボジアで使用されている防火システムと消防システムは以下の通りです。

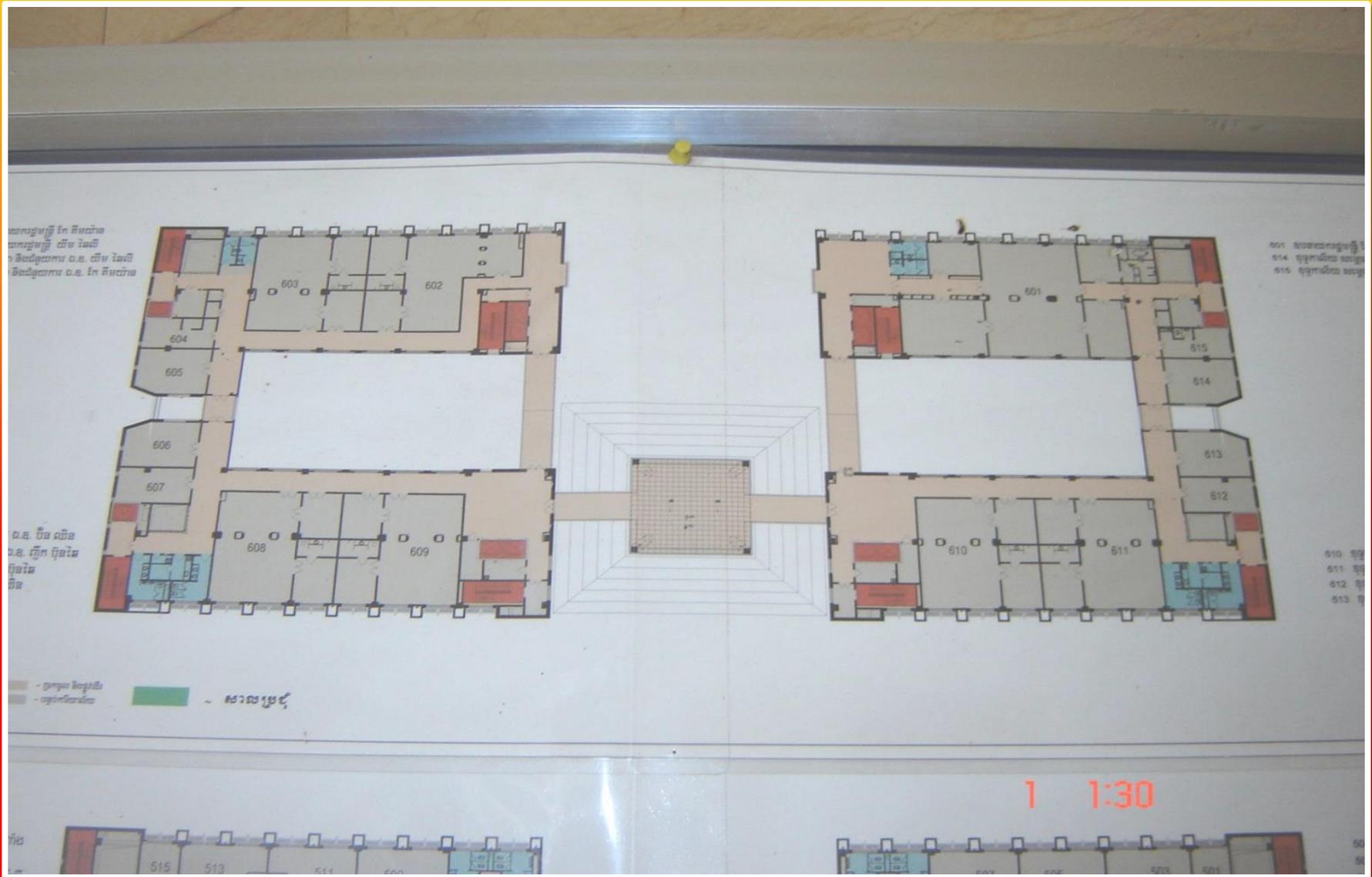


※ 通報システム(煙検知または熱検知)とガス検知又は燃料検知する機械。

# 落雷防止システムと非常口



# ❖ 各階の避難口の地図

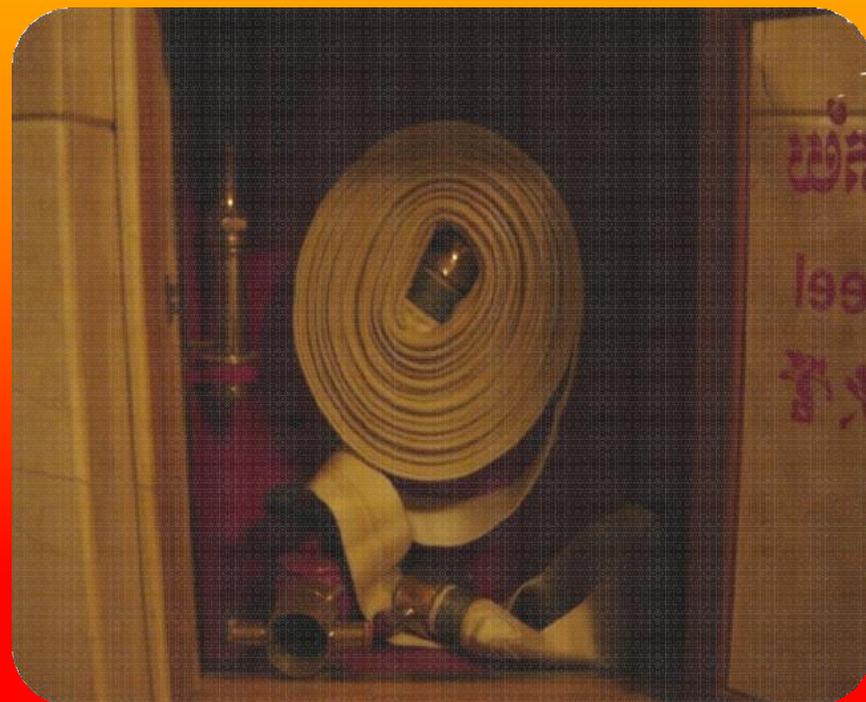




## 消防車のための消火栓



❖ 屋内消火設備

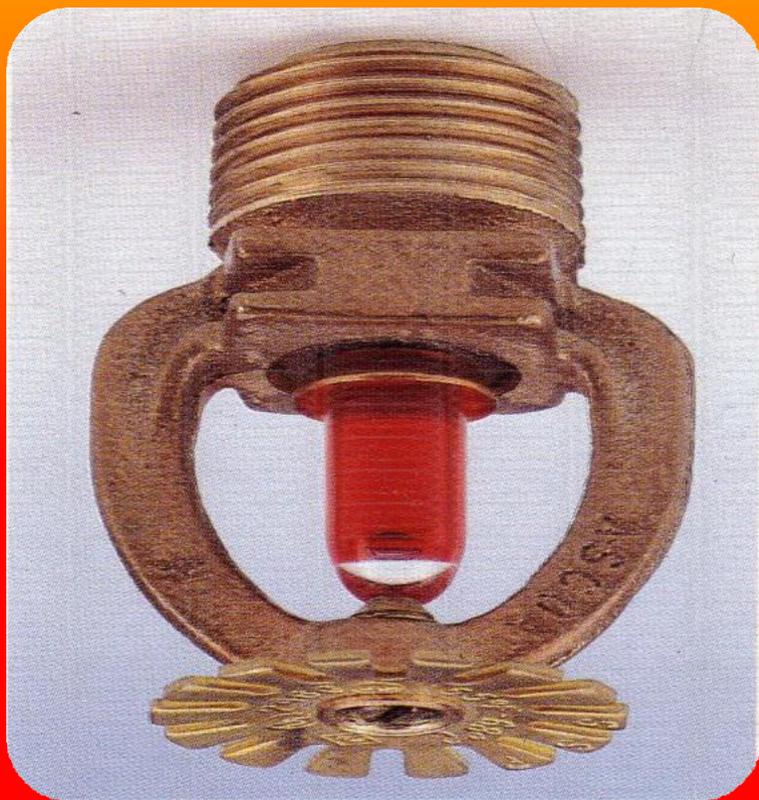




❖ 自動火災報知設備(ベル)



❖ 自動消火設備(スプリンクラーヘッド(水))

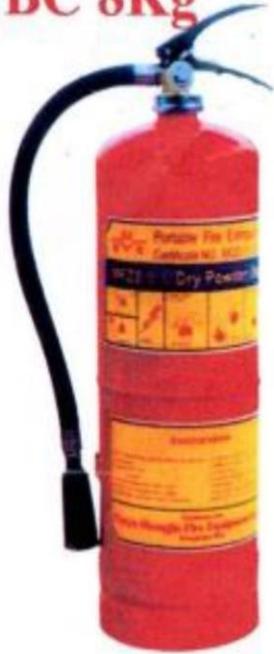


# 各種消火器(BC,ABC,CO2,泡,ハロン)

活B

BC又はABCの種類は、液体・固形燃焼、ガス及び電気火災に有効なものである。

BC 8Kg



BC 4Kg



ABC 8Kg



ABC 4Kg





燃焼 の分 類	燃焼物	消火器の有効性						
		CO <sub>2</sub>	BC	ABC	D	M	Foam	Halon
A	材木、紙、布							
B	燃料:.....							
C or E	ガス、電流.....							
D	金属、非金属.....							
M	飛行機のタイヤ							

CO<sub>2</sub>分類

液体・ガス及び電子部品の燃焼に有効である。

電流分類



※泡とハロン物質は、健康と環境へ悪い影響がでるため、今、カンボジアでは使用されていない。

## ※調理場では消火用毛布 (Fire Blanket) を設置 ( Fire Blanket )



# ❖ 火災安全管理設備 (Fire Control Panel)



# ❖ 停電時に自動点灯する照明設備



# ❖ 火災時の避難のための避難はしご



## 2-防火対策

- 職場・設備・倉庫・道具を定期的に清掃する。
- ろうそく、香、ストーブ、タバコ、ゴミ焼却、野焼き、弾薬、ロケット等々を使用するとき、完全に火を消した後、又は、火が消えてから、現場から出て行ってもいい。
- 燃えやすい、また、爆発しやすい物質はきちんと整理整頓を行う。また、風通しがよい状態を保つこと。

- 各廃棄物は、密閉できるゴミ箱の中か又は、口が結ばれている袋の中に捨て保管される。
- 完全にエンジンが停止した状態で、各車両やエンジンに燃料の給油すること。
- ガススタンドや燃料スタンドでは、電気の使用は禁止される。
- 任意のガス又は燃料を一箇所又は一つの地域から別の場所又は地域に移す、また、運ぶときは、きちんと技術的基準に従って、チェックした上で、行うこと。

- 可燃性ガス、燃料の保管は、風通しがよい場所に整理整頓よく保管すること。1000ℓ以上保管する場合には、地下で保管すること。もし、どうしても、地理的な条件で保管が困難な場合には、地面以上に保管することで、さらに、保管場所の体積は保管対象物の体積より大きいこと。
- ガス・燃料連結設備を定期的にチェックし、異常が見つかったら、早急に修理又は、交換を実施する。

- ガス・燃料を保管するものは、品質がよいもので、また、穴やさびがないこと。
- 車で燃料を運ぶとき、地面とつながるひもを車に着けることにより、静電気を減らせることが可能である。
- ガス・燃料を運ぶとき、しっかり固定されていないと、容器と容器がぶつかり、火花が発生する可能性がある。それを防ぐため、必ず丈夫なロープで締めて、そして、各容器の間に必ず木材を挟んで、運ぶこと。

- 燃料の臭気又はガスの燃焼に異常を感じたら、火花が生じるようなライターやマッチなどを使用しないこと。
- 製造現場に使われている化学物質(例:ナトリウム、カリウム、マグネシウム、リン)の化学反応を引き起こすような物質から遠ざけて保管する。ナトリウム、カリウム、マグネシウムは水と反応すると、火花が生じる。一方、リンは空気に触れたら、発火する。
- 電源が一つのソケットから三つ以上使用すると、過電流が発生する可能性があるため、三つ以上の使用は禁止されている。

- 電気を分配し配線するとき、電気量が限界を超えないようにヒューズやブレーカーを使用すること。
- すべての電気製品は品質が良いものを使用すること。故障又は、不良のままで使用しないこと。電線・電気システムを毎日定期的にチェックし、異常を発見したら、早急に交換すること。
- 使用している電気量は供給側とい常に良いバランスを保つこと(超える場合、25%以下まで)。
- 各電灯は熱で破裂しないよう、又は割れるのを防ぐため、保護フタを使用すること。

- 燃えているような匂いを感じる時、電流を遮断するため、必ず電気ブレーカーを落とすこと。そして、早急にチェックを行うこと。電気器具や電気を使っている設備や道具は、使い終わったときに、必ず、スイッチを切るか、電源を切ること。
- 防火・雷防止向け自動情報感知設備は、品質の良いものを使うこととし、定期的に点検を行うこと。

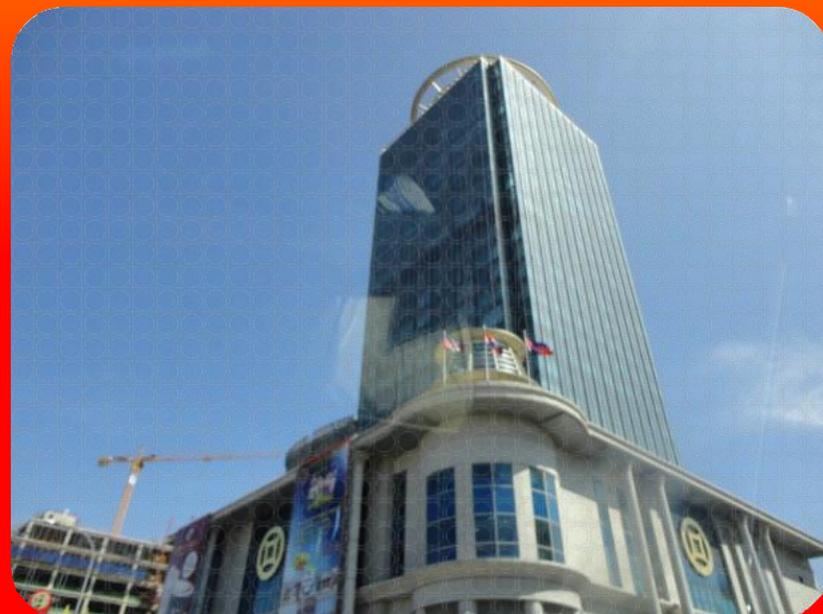


火災が発生した直後、担当当局が救助に入るまでに、自分たちで初期防火・消火できるように、専用防火・消火チームを確立すること。その部隊のチームは、防火・消火専門家により、指導・訓練を受けること。

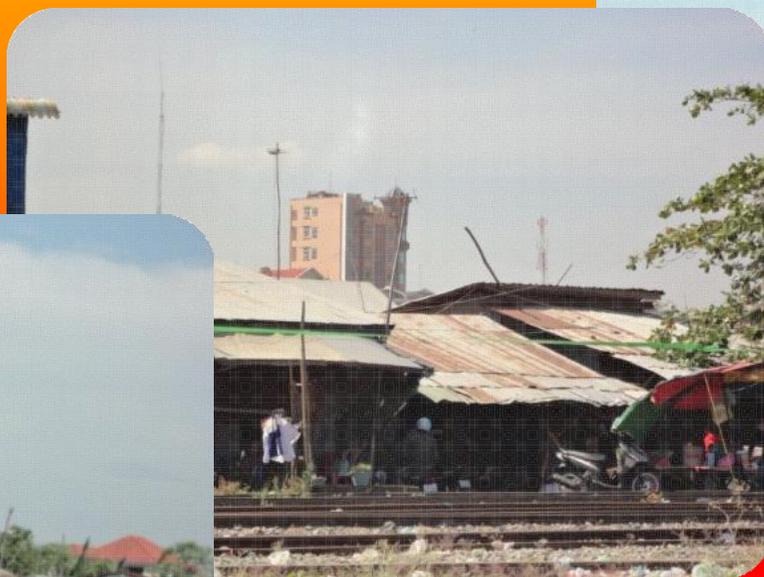
## II- 直面する課題

今現在、カンボジアでは、消火活動を実行するために、以下のような課題に直面している。

1- 一部の建物は、非常に高く作られて、火災が発生したとき、消防車による救助ができなくなる。

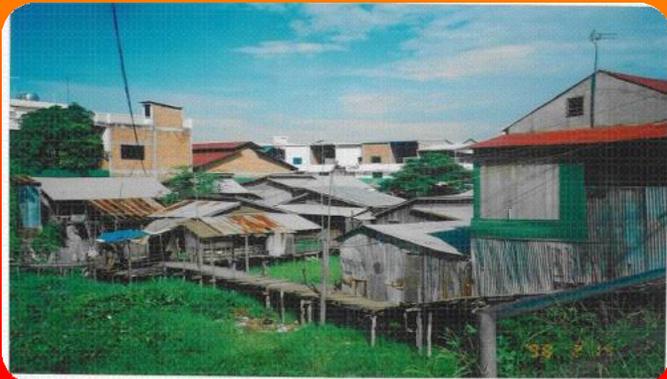


2ー古い建設物は消防設備が整備されていないため、消火・救助活動が困難な状況にある。



3ー道路インフラは陥没していたり狭いため、消防車の通行に障害が生じる状態である。

4ー消火栓 (Hydrant) は、一部の州において、消防車が使用するための数がそろっていない状況である。



လက်မှတ်

# FIRE SAFETY



ကျွန်ုပ်တို့အတွက်ကျေးဇူးတင်ပါတယ် !

ありがとうございます !